



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月31日

上場会社名 日亜鋼業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5658 URL <https://www.nichiasteel.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 利典  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山内 幸治 (TEL) 06-6416-1021  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	8,225	△4.5	218	△27.8	492	△15.3	291	△10.5
2025年3月期第1四半期	8,608	5.1	303	△0.6	580	5.0	325	7.7

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 461百万円(△8.1%) 2025年3月期第1四半期 502百万円(△47.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	6.20	—
2025年3月期第1四半期	6.83	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	72,652	55,546	71.5
2025年3月期	72,339	55,375	71.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 51,920百万円 2025年3月期 51,807百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	4.00	—	6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

2026年3月期の業績予想につきましては、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※詳細は、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	51,755,478株	2025年3月期	51,755,478株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	4,744,977株	2025年3月期	4,717,851株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	47,028,549株	2025年3月期1Q	47,719,703株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、地政学的リスク、欧米や中国の景気動向、米国トランプ政権の関税・通商政策、為替相場等の複合的な要因が相俟って、先行きの不透明な状況が継続しました。

線材加工製品業界においては、普通線材製品でフェンス及び土木の二大需要分野の低迷が継続しました。特殊線材製品では、国内自動車向け需要が回復途上にあるものの、鋼索向けの需要が減少しました。鋳螺線材製品は、昨年同期以降の人手不足及び建設費高騰等の影響が継続し、需要が低迷しました。

一方で、コスト面では、主副原料価格の上昇に加え、物流費やエネルギー費、人件費等が増加しました。

このような事業環境の中、当社グループは、これらのコスト上昇に対する販価転嫁をはじめ、輸入針金代替需要の捕捉、コスト低減対策等を積極的に推進しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、販売数量の減少により8,225百万円と前年同期に比べ383百万円(△4.5%)の減収となりました。

利益面においては、販売価格改善等の増益要因が諸コストの上昇を上回ったものの、販売数量が減少したことにより、営業利益は218百万円と前年同期に比べ84百万円(△27.8%)の減益、経常利益は492百万円と前年同期に比べ88百万円(△15.3%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は291百万円と前年同期に比べ34百万円(△10.5%)の減益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

また、セグメント利益は、営業利益ベースの数値であります。

#### 普通線材製品

普通線材を素材とした各種めっき鉄線、また、めっき鉄線を素線とした加工製品からなり、公共土木向けのかご、落石防護網及び民間向けを含めた各種フェンス等に使用されております。

売上高は、主副原料価格及び物流・エネルギーコスト等の上昇に対する販売価格改善の一方で、販売数量が減少したことにより、2,067百万円と前年同期に比べ186百万円(△8.3%)の減収となりました。

営業利益は、販価改善等の増益要因が、販売数量減及び諸コスト上昇等の減益要因を上回ったことにより、30百万円と前年同期に比べ5百万円(21.3%)の増益となりました。

#### 特殊線材製品

特殊線材を素材とした硬鋼線、各種めっき鋼線、鋼平線、鋼より線、鋼索等からなり、自動車向け、電力通信向け及び公共土木向け等、多岐に渡って使用されております。

売上高は、主副原料価格及び物流・エネルギーコスト等の上昇に対する販売価格改善により、4,415百万円と前年同期に比べ177百万円(4.2%)の増収となりました。

営業利益は、販価改善等の増益要因が、諸コスト上昇等の減益要因を上回ったことにより、140百万円と前年同期に比べ65百万円(87.1%)の増益となりました。

#### 鋳螺線材製品

鋳螺線材を素材としたトルシア形高力ボルト、六角高力ボルト及びGNボルト等からなり、主として建築向けに使用されております。

売上高は、主原料価格及び物流・エネルギーコスト等の上昇に対する販売価格改善の一方で、販売数量が減少したことにより、1,589百万円と前年同期に比べ362百万円(△18.6%)の減収となりました。

営業利益は、販売数量減及び諸コスト上昇等の減益要因が、販価改善等の増益要因を上回ったことにより、18百万円と前年同期に比べ151百万円(△89.2%)の減益となりました。

#### 不動産賃貸

主に賃貸用不動産を所有・経営しております。

売上高は、40百万円と前年同期に比べほぼ横這いとなりました。

営業利益は、23百万円と前年同期に比べ1百万円(△5.9%)の減益となりました。

#### その他

めっき受託加工等の売上高は130百万円と前年同期に比べ19百万円(△13.1%)の減収となりました。

営業利益は、6百万円と前年同期に比べほぼ横這いとなりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は72,652百万円となり、前連結会計年度末に比べ312百万円の増加となりました。流動資産は37,443百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,615百万円の増加となりました。これは主に有価証券の増加によるものです。固定資産は35,208百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,302百万円の減少となりました。これは主に投資有価証券の減少によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は17,105百万円となり、前連結会計年度末に比べ141百万円の増加となりました。流動負債は11,803百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円の増加となりました。これは主に未払金の増加によるものです。固定負債は5,301百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円の増加となりました。これは主にその他の増加によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は55,546百万円となり、前連結会計年度末に比べ171百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は71.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済は、米国トランプ政権の関税・通商政策等が世界的な景気動向や株式・為替相場の変動等に与える影響を大きく受けかねないことから、先行きの不透明さ・不確実性が従来より相当程度高まっている状況にあります。こうした状況を踏まえ、2025年度の業績予想については、現時点では未定とし、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,130,212	11,266,659
受取手形及び売掛金	6,546,483	6,358,063
電子記録債権	5,236,614	5,171,008
有価証券	1,286,185	3,049,601
製品	6,685,100	6,632,705
仕掛品	1,430,806	1,485,267
原材料及び貯蔵品	3,255,785	3,165,937
その他	262,878	319,917
貸倒引当金	△5,459	△5,372
流動資産合計	35,828,607	37,443,787
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,423,077	3,469,495
機械装置及び運搬具(純額)	3,588,474	3,517,746
土地	9,179,983	9,180,032
建設仮勘定	158,303	367,909
その他(純額)	189,550	202,188
有形固定資産合計	16,539,388	16,737,372
無形固定資産		
ソフトウェア	67,144	112,005
ソフトウェア仮勘定	353,279	539,955
その他	2,938	2,930
無形固定資産合計	423,361	654,891
投資その他の資産		
投資有価証券	17,628,222	15,885,529
長期貸付金	7,475	7,451
退職給付に係る資産	501,612	506,927
繰延税金資産	1,999	1,999
その他	1,437,298	1,442,976
貸倒引当金	△28,825	△28,825
投資その他の資産合計	19,547,783	17,816,058
固定資産合計	36,510,533	35,208,322
資産合計	72,339,141	72,652,109

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,947,397	1,936,304
電子記録債務	4,981,479	4,842,519
短期借入金	1,150,000	1,250,000
1年内返済予定の長期借入金	1,380,000	1,300,000
未払金	815,284	1,230,281
未払法人税等	406,552	173,516
賞与引当金	351,198	100,587
解体撤去引当金	31,874	31,874
関係会社整理損失引当金	244,713	232,517
その他	420,667	706,181
流動負債合計	11,729,167	11,803,782
固定負債		
長期借入金	730,000	730,000
繰延税金負債	2,207,315	2,263,350
役員退職慰労引当金	214,671	8,830
退職給付に係る負債	2,020,737	2,060,509
その他	61,617	238,783
固定負債合計	5,234,341	5,301,474
負債合計	16,963,509	17,105,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,720,068	10,720,068
資本剰余金	10,888,051	10,888,051
利益剰余金	26,112,800	26,122,362
自己株式	△1,449,276	△1,457,506
株主資本合計	46,271,643	46,272,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,982,683	5,113,953
為替換算調整勘定	259,489	256,031
退職給付に係る調整累計額	293,201	278,034
その他の包括利益累計額合計	5,535,374	5,648,019
非支配株主持分	3,568,614	3,625,858
純資産合計	55,375,632	55,546,853
負債純資産合計	72,339,141	72,652,109

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
売上高	8,608,609	8,225,260
売上原価	7,111,962	6,794,047
売上総利益	1,496,647	1,431,213
販売費及び一般管理費	1,193,640	1,212,454
営業利益	303,007	218,758
営業外収益		
受取利息	41,642	46,755
受取配当金	179,846	205,801
有価証券償還益	24,000	5,000
持分法による投資利益	—	6,180
太陽光売電収入	12,713	15,491
為替差益	33,407	—
雑収入	17,329	11,871
営業外収益合計	308,939	291,099
営業外費用		
支払利息	4,865	6,314
持分法による投資損失	20,146	—
太陽光売電原価	5,332	5,092
為替差損	—	6,003
雑支出	644	425
営業外費用合計	30,988	17,835
経常利益	580,957	492,021
特別利益		
固定資産売却益	488	—
特別利益合計	488	—
特別損失		
固定資産除却損	24,866	2,619
特別損失合計	24,866	2,619
税金等調整前四半期純利益	556,579	489,402
法人税等	188,722	152,420
四半期純利益	367,856	336,982
非支配株主に帰属する四半期純利益	41,898	45,194
親会社株主に帰属する四半期純利益	325,957	291,787

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	367,856	336,982
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	120,657	147,012
為替換算調整勘定	19,978	△5,392
退職給付に係る調整額	△6,084	△16,434
持分法適用会社に対する持分相当額	△105	△492
その他の包括利益合計	134,445	124,694
四半期包括利益	502,302	461,676
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	450,195	404,431
非支配株主に係る四半期包括利益	52,106	57,244

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	329,458千円	329,937千円

(セグメント情報等の注記)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	普通線材 製品	特殊線材 製品	鋸螺線材 製品	不動産 賃貸	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,245,127	4,219,925	1,951,895	41,113	8,458,062	150,547	8,608,609	—	8,608,609
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8,873	17,812	—	—	26,685	—	26,685	△26,685	—
計	2,254,000	4,237,738	1,951,895	41,113	8,484,748	150,547	8,635,295	△26,685	8,608,609
セグメント利益	24,863	75,141	170,294	25,259	295,558	7,268	302,827	180	303,007

1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、めっき受託加工等を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	普通線材 製品	特殊線材 製品	鋸螺線材 製品	不動産 賃貸	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,061,440	4,403,193	1,589,517	40,227	8,094,378	130,881	8,225,260	—	8,225,260
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5,748	12,232	—	—	17,981	—	17,981	△17,981	—
計	2,067,189	4,415,426	1,589,517	40,227	8,112,360	130,881	8,243,242	△17,981	8,225,260
セグメント利益	30,170	140,582	18,322	23,774	212,849	6,704	219,554	△796	218,758

1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、めっき受託加工等を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(持分法適用関連会社株式の譲渡)

当社は、2025年7月31日開催の取締役会において、タイ国に所在する当社の持分法適用関連会社である「TSN Wires Co., LTD.」(以下、TSN)の株式を全株譲渡すること及び当社が保有するTSNに対する貸付金並びに保証債務に相当する追加融資額全額を放棄することを決議いたしました。

詳細につきましては、2025年7月31日付適時開示「持分法適用関連会社の異動(譲渡)及び債権放棄に伴う特別損失発生に関するお知らせ」をご参照ください。